

情勢報告

栽培管理の基本から炭酸ガス施用の新技术まで～安芸出荷場ナス部会現地検討会～



「これが炭酸ガス発生機、これはダクトファン、そしてダクトで株元に局所施用を…」 装備一式を説明。

10月21日、安芸集出荷場園芸研究会ナス部会は出荷規格の目慣らし会・現地検討会(3か所)を行い、生産者26人が参加しました。

振興センターは「厳寒期に向けたナスの基本栽培管理」、「環境制御技術導入加速化事業の紹介」、現地の圃場では「炭酸ガス局所施用の施工例」について説明しました。

振興センターは、今後、生産者全体の基本栽培管理の徹底とともに環境制御技術に取り組む生産者への技術支援を強化します。

見えなかった虫が見えるようになった！～安田町中山地区花き巡回指導～



早くから葉散せないかねえ

JA土佐あき花卉部中山支部では、今年更新した宿根性スターチスの品種の現地適応性を確認するため、10月28日に現地巡回を行いました。

9月巡回時に被害葉からアザミウマの発生を指摘し、使用農薬と発生初期からの防除法を指導していました。今回巡回したいずれのは場(3戸)でも、アザミウマ類の発生を指摘しましたが、最初「私らあには見えん、見えん」と言っていた生産者の言葉が、ルーペの使用方法や葉上での見分け方などを指導した結果、「見えた！見えた！」に変わってきました。

今後も振興センターでは、同支部へ毎月の巡回指導をJAとともにを行い、栽培技術の向上を図ります。

新規就農にむけて、研修中です！（就農支援研修事業）



就農準備について検討中

10月29日、田野町担い手育成協議会が主催し、田野町就農支援研修生を対象に就農準備研修会を開催しました。

振興センターは補助事業や制度資金などの就農支援制度や申請内容等を紹介し、来園芸年度の経営開始までの準備スケジュールや各自の就農目標、ハウスの希望などを話し合いました。次回は、空きハウスの下見や就農目標に沿った必要経費等具体的な計画づくりをしていきます。

振興センターでは、関係機関と連携し、就農準備研修会の開催や農地・ハウス等の確保を進めていきます。

炭酸ガス施用技術の普及で更なる飛躍を！

～芸西ピーマン部会から～



部会全員で炭酸ガス施用技術に取り組みませんか

10月30日に、JA 芸西ピーマン部会は炭酸ガス施用技術の普及のために県の環境制御技術加速化導入事業の説明会を開き 15 人が参加しました。

振興センターからは事業の概要を説明し、昨年の炭酸ガス実証試験結果や炭酸ガス発生機、制御機器等も具体的に紹介しました。

既に炭酸ガス施用技術に取り組んでいる農家は、「イニシャルコストは3年で返せる」「みんなが導入しなければならない技術」と力強く語っていました。

今後も振興センターは、炭酸ガス施用技術導入推進及び増収に向けた支援をします。

稲刈りに挑戦！大野台地の農業を出前授業～田野小学校3年生～



先生刈るのが早い！

11月4日、田野町田野小学校の3年生15人は、大野台地の主用品目であるオクラと水稻について勉強しました。講師はJA 営農指導員と振興センター職員が勤めました

児童らはあらかじめ地元スーパーの地場産品コーナーに並んでいる野菜の種類や米をしっかりと調べており、授業では活発な質疑応答がなされました。鎌を使った稲刈りの実習では、おぼつかない手つきながらもけがなく稲を刈ることができました。

振興センターでは今後も、出前授業の要請には積極的に対処し、子どもたちに農業好きになってもらうよう働きかけを継続します。

目指せ収量 UP!東洋町農業研究会ナス現地検討会



新技術に興味ありませんか？

11月7日に東洋町農業研究会はナス現地検討会を開催し、8人（系統外5人）が参加しました。現地検討会では、ベテラン農家から新規就農者に対して栽培技術の熱心なアドバイスがありました。講習会では、振興センターから今後の栽培管理や環境制御技術導入加速化事業を、JA から燃油高騰緊急対策事業について説明しました。

今後も振興センターは、部会活動への指導や個別巡回で東洋町農業研究会を支援して地域のまとまりづくりに協力していきます。

東大野集落営農組織臨時総会の開催



食味試験中・・・香りはどんなかな？

11月8日、田野町東大野集落営農組織の臨時総会が出席者18名、委任状15通を得て開催されました。

振興センターは、特別栽培米（にがり米等）の食味試験や総会開催運営支援を行い、規約改正や今後の集落営農組織の活動方針について話し合いました。米の栽培は「今のままの運営では収益が上がらない」「地域の理解が必要」等の意見が出され、会議の内容をかわら版で報告することとなりました。

振興センターでは、今後も集落営農について組織が継続できるよう運営支援を行っていきます。

地域ぐるみでハスモンヨトウを捕まえよう！大作戦 ～芸西小学校～



何匹捕れたか分かる人～！
はあーい！

芸西ブロック青年農業士会が、芸西小学校3年生を対象に活動を行っている「地域ぐるみでハスモンヨトウを捕まえよう！大作戦」が今年で10年目を迎えました。

この活動は、青年農業士と小学生が一緒にハスモンヨトウの成虫を捕獲するトラップを作成・設置し、園芸で問題となるハスモンヨトウの数を減らすとともに、地域の小学生に園芸農業への理解を深めてもらうことを目的に行っています。11月13日のまとめの授業では、1758匹捕れたことを小学生36人に伝え、一斉に驚きの声や満足そうな声が上がっていました。

今後も振興センターは、ハスモンヨトウについての講習等、この活動全般の支援を継続していきます。

「環境制御技術導入加速化事業」推進に向けて ～土佐あき新施設園芸システム勉強会による環境制御機器説明会の開催～



↑想定以上の参加者に会場は満杯。
←説明会後も機器メーカーに熱心に質問する生産者

11月13日、ハウス内環境制御による増収技術の早期確立に取り組む生産者らで構成する「土佐あき新施設園芸システム勉強会（設立H25年7月）」が主催して、環境測定装置、炭酸ガス発生機等を製造・販売する各メーカーを招き機器説明会を開催し、88人（内、生産者39人）の参加がありました。

振興センターは、説明会の開催を働きかけるとともに、当日は実証圃での機器説明を行いました。生産者からは、「各機器の特性が理解できた」「機器選定の参考となった」「今年は無理だが次年度導入したい」等の声が聞かれ、活発な意見交換がなされました。

大野倶楽部 第2回食農教育体験交流会



皮を傷つけずにお芋を掘れるかな？

11月15日、大野倶楽部は田野町東大野で消費者22人を迎え、第2回食農教育体験交流会を実施しました。第1回交流会で種まきした大根やほうれん草の草取りやサツマイモの収穫を行いました。午後は大野台地の牛と堆肥や野菜作りについて学習しました。今回は、直販コーナーを設け農産物の販売も行われました。振興センターでは、時間配分や役割分担に配慮し、特に食体験の準備やサツマイモ収穫体験が円滑に進行できるように運営支援を行いました。

今後は、12月の第3回交流会開催に向け、円滑に会ができるように支援していきます。

「環境制御技術導入加速化事業」～事業活用者の掘り起こしとフォローアップ～



「このハウス規模に合う炭酸ガス発生機の能力は？ 各機器の特性は？」
生産者と検討

作物にとってより適正なハウス内環境を作り増収効果をねらいとした「環境制御技術導入加速化事業」について、振興センターはJA、管内自治体と連携し、事業活用者の増員を図ってきました。

11月19日には、事業に関心を示した生産者10人(安芸集出荷場管内)に対し、JA 営農指導員らとともに圃場での面談等により、事業活用意思確認や機種選定等の打合せを行いました。

振興センターは、今後も品目や栽培に適した環境制御技術の導入を支援していきます。